

ヤマネ

森の中すむ、リスでもネズミでもない小さな哺乳動物。ふさふさたしつぽに、背中の黒いラインが特徴のヤマネです。日本の固有種で、国内には1属1種しかいため、国の天然記念物に指定されています。

暖かい季節の夜には、森の中で樹木の上を動き回り、花の蜜や果実、昆虫などを食べています。秋から冬にかけて気温が10度近くまで下がると、樹木の洞^{うろ}や鳥の巣箱などにコケなどを敷き冬眠します。冬眠中は丸くなって仮死状態になるため、「マリネズミ」とも呼ばれています。かわいい姿ですが、許可なしには触れないほど貴重な動物ですので、見つけてもそっとしておいてくださいね。

